

1994年日食は「イグアスの滝」で(第2報)

木村 精二

日食情報 1993 No.2でお約束したSRAA(アマチュア天文研究シンポジウム)からの続報が、ようやく届いたので、お知らせします。呼び掛けは1991年7月にメキシコで第1回同シンポジウムを開いたウェストフォールさん(John E. Westfall, Member, Board of Directors, Symposium for Research Amateur Astronomy, P.O. Box 16542, San Francisco, CA 94116, USA)です。今回の旅行については、TRAVEL BAG INTERNATIONAL(P.O. Box 178247, San Diego, CA 92177, USA)に委託し、シンポジウムについてのみ、ウェストフォールさんが窓口になっています。

旅行代金は、ロスアンゼルスからの航空運賃とホテル8泊7夕食に観光バス代などで\$2595(約29万円)、マイアミ発着の場合は\$2495、また航空運賃を除くと\$1795です。このツアーに参加するにはシンポジウムに出席することが条件で、その費用は\$150です。日食だけでなく諸外国の仲間との交流、ついでに南アメリカ観光を希望する方にはお勧めコースかも知れません。関心をお持ちでしたら、ご一報下さい。折り返し詳しい資料と申し込み用紙などお送りします。

旅程の概要は、次のとおりです。

- 10月28日(金) 夕刻: ロスアンゼルス発
29日(土) 午後: ブエノスアイレス着
30日(日) 午前: 市内観光, 午後: プラネと天文家訪問
31日(月) 午前: 自由, 午後: ブエノスアイレス発, イグアス着
11月1日(火) 一日: シンポジウム(太陽・惑星・彗星・写真...) 伊グアス泊
2日(水) 午前: シンポジウム, 午後: 翌日の皆既日食準備 伊グアス泊
3日(木) 午前: 中心線へ移動※、皆既日食観測, 夕刻: 祝賀会 伊グアス泊
4日(金) 午後: リオデジャネイロ着後に市内など観光 リオデジャネイロ泊
5日(土) 午後: 海岸と山岳地帯観光, 天文家と交流会 リオデジャネイロ泊
6日(日) 一日: オブショナルツァ, 夕刻: リオデジャネイロ発, 帰国の途へ
7日(月) 午前: ロスアンゼルス着

※ Meteorologists scan the skies with a multifax computer software
the night before and lead our group to the most promising location.
なおホテルは、イグアス: Hotel International, 他の2都市は Sheraton.